

ユマニテク医療福祉大学校 令和2年度自己評価結果

令和3年2月25日

| 項目 | 評価ポイント | 評価・課題 |
|-------------|---|---|
| (1) 教育理念・目標 | <ul style="list-style-type: none"> ●学校の理念・目的・育成人材像は定められているか ●学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が生徒・関係業界・保護者等に周知されているか ●各学科の教育目標・人材育成像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか | <p>評価： ほぼ適切</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の理念・目的・育成人材像・特色については、HP、学生便覧、オープンキャンパス等で周知している。 ・年2回教育課程編成委員会を開催し、外部委員から、業界のニーズに対応した授業内容・授業方法の改善について意見を収集している。 <p>課題： 今年度は、コロナ禍のなか保護者会を開催することができなかったため、保護者への周知や意見収集ができていない。</p> <p>改善策： 中長期的な視点での学校の在り方について、関係業界や学生・保護者の意見等も把握して方向づけていく。</p> |
| (2) 学校運営 | <ul style="list-style-type: none"> ●目的に沿った運営方針、運営方針に沿った事業計画、体制等が策定されているか ●情報システム化等による業務の効率化が図られているか | <p>評価： ほぼ適切</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画に基づき実行しており、達成状況の把握、成果・課題の分析、次年度への改善に活かすという体制等はできている。 <p>課題： さらに実効性のあるものに改善していく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報システムは構築されているが、通信環境が不安定なため、業務の効率化が十分に図れていない。 <p>改善策： 2年から導入された経営コンサルタント会社の支援を継続的に得ながら、法人全体の基盤整備を図る。</p> |
| (3) 教育活動 | <ul style="list-style-type: none"> ●教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ●職員の能力開発のための研修等が行われているか | <p>評価： ほぼ適切</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法令に基づく教育課程の編成を行っており、実践的な教育の視点から体系的な教育課程の編成、ディプロマポリシーに基づいた卒業認定を行っている。 ・年2回教育課程編成委員会を開催し、関係施設や業界団体等と連携し、教育課程の作成・見直し、授業内容・方法の改善・工夫を行っている。 ・遠隔授業についての知識や技術を習得することができた。今後を活用することができる。 ・外部講師を招聘して、校内教職員研修を2回実施した。校外研修については、コロナ禍で多くの研修会が中止となった。 <p>第1回「オンライン授業の成果をどう活用するか」 第2回「学生指導にどう生かすか～学生の相談からみえるもの～」 「職業倫理研修～ハラスメントの起こらない職場にするためには～」</p> |

| | | |
|----------|---|--|
| | | <p>課題：近年、多様な学生な入学しており、学生への個別の対応や支援、保護者への対応等に関する業務負担が著しく増加している。それらに関する対策を講じる必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界のニーズに対応した先端的な知識や技能を習得するためには、教育機材等の整備が必要である。 <p>改善策：全ての学科において、カリキュラムマップの作成を行い、各科目の関係性を明確にしていく。また、関連分野との連携を図り、内容を強化する。</p> |
| (4) 学習成果 | <ul style="list-style-type: none"> ●卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか ●就職率の向上、退学率の低減が図られているか ●卒業後のキャリア形成への効果を学校の教育活動の改善に活用しているか | <p>評価：ほぼ適切</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の国家試験合格率は、理学療法学科 88.2% (93.2%)、作業療法学科 83.3% (94.2%)、歯科衛生学科 100% (94.3%)、介護福祉学科は 87% (69.9%) であった。(カッコ内は全国平均) ・就職は、ほぼ 100% 関連分野にしている。 ・退学率は年々減少している。成績不良者に対する個別指導や面談等を実施したり、保護者との連携を密にして学校と家庭の状況を情報共有したりするなど、学生へのサポートを充実させてきたことが退学率の減少に繋がっていると考えている。 ・卒業後のキャリア形成にむけ、同窓会と連携して、公開講座やオンライン研修会を実施した。 <p>課題：国家試験の合格率の向上、退学率の減少に向けた対策を講じる必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業後のキャリア形成については、在学中に関連科目等において講義をおこなっているが、十分に効果を把握できていない。 <p>改善策：低学年から国家試験にむけた対策を強化する。自学自習用のサプリー等も活用しながら、学習習慣の定着を図っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同窓会、地域歯科医師会、職能団体等とも連携して、卒業後のキャリア形成に向けたサポートを引き続き行っていく。 |
| (5) 学生支援 | <ul style="list-style-type: none"> ●進路・就職に関する支援体制は整備されているか ●高校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか ●学生相談に関する支援体制は整備されているのか | <p>評価：ほぼ適切</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任による学生との就職面談、求人票の公開、就職説明会等を行っている。就職希望者は全員関連分野に就職している。 ・日本学生支援機構や専門実践教育訓練給付金制度(歯科衛生学科、介護福祉学科)の利用者への支援や、本年度から高等教育修学支援制度対象校となったことから、対象者への制度の周知や申請手続き等のサポートを行った。 ・高校からの進路ガイダンス、学校見学、出前授業等の依頼にはできる限り対応した。中学校での職業体験の出前授業を行った(専修学校協会主催)。 ・月2回、臨床心理士によるスクールカウンセリングを実施しており、有効に活用されている。 |

| | | |
|---------------|--|--|
| | | <p>課題：経済的な支援の必要な学生に対しては、奨学金、修学支援制度、学費の分納などのサポートを行っているが、コロナ禍でさらに経済的に厳しい学生への支援が必要である。</p> <p>改善策：様々な修学支援の制度について、学生に周知し、必要な学生に届くよう事務部と教務が協力して支援する。</p> |
| (6)教育環境 | <p>●施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</p> <p>●学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか</p> | <p>評価：ほぼ適切</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定備品については、2022年度までに整備が完了する予定である。 20年を経過している施設設備については、計画的に整備・修繕をしていく予定である。 実習施設については、必要に応じて登録申請を増やしていく予定である。 <p>課題：経年劣化による外壁補修、空調施設等の更新などが必要になっている。</p> <p>改善策：施設設備の整備は高額であり、国の補助事業等を活用し、計画的に行っていく。</p> |
| (7)学生の受け入れ・募集 | <p>●学生募集活動は適正に行われているか</p> <p>●高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか</p> <p>●生徒募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか</p> | <p>評価：ほぼ適切</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校案内パンフレット、学校HPに加えて、SNS等を活用した情報発信に積極的に取り組んだ。Lineを活用したオープンキャンパスの申込や情報発信は、利便性が高く効果があった。Twitter、Instagramに、広報及び各学科から定期的に情報を発信した。 高校での進路指導の参考資料として、就職状況一覧を作成し提供した。 コロナ禍でガイダンスが中止となったが、オンラインによる説明会に切り替えて個別に対応した。 受験生の要望に応え、入試対策講座を実施した。 <p>課題：オープンキャンパスへの参加が入学に繋がることから、オープンキャンパスの改善に取り組み、参加者を増やしていく必要がある。</p> <p>改善策：学校HP及びパンフレットをリニューアルに伴い、SNS及びトピックスの活用を進め、募集を活発化する。</p> |
| (8)財務 | <p>●財務について会計監査が適正に行われているか</p> <p>●中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</p> <p>●予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</p> | <p>評価：ほぼ適切</p> <ul style="list-style-type: none"> 法人として、理事会の承認、監査等は適正に行われている。 高等教育の修学支援制度の対象校として認定されている。 <p>課題：学生数は微増傾向ではあるものの、定員を充足していない。</p> <p>改善策：高等教育の修学支援制度の対象校が継続できるようにする。修学支援制度の学生への周知を行い、対象となる学生の申請手続き等のサポートをする。入学時の優遇制度を導入して入学生の増加につなげていく。</p> |

| | | |
|-----------------------|--|---|
| <p>(9) 法令等の遵守</p> | <p>●法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ●個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</p> | <p>評価：ほぼ適切 ・毎年、校内規程等の見直しを行っている。 ・個人情報の取扱いについては、個人情報の管理に係る取扱い規定を定め適切に運用している。 課題：教職員の意識啓発を図るために、研修を定期的に行う必要がある。 改善策：個人情報の管理の徹底を図るため、事務作業時の複数者でのダブルチェックを徹底する。 年1回教職員研修を行い、職業倫理意識を高める。</p> |
| <p>(10) 社会貢献・地域貢献</p> | <p>●学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか ●生徒・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか</p> | <p>評価：やや不適切 ・地域住民のための津波避難所として指定されている。地元自治会と連携して、定期的に避難場所及び避難誘導の方法の確認を行っている。 ・学校主催としては、地域公開講座(歯科衛生学科)、オンライン研修講座(理学療法学科)を行った。また、地域からの要請に応じて教職員を講師として派遣している。 ・学生へのボランティアの依頼については、掲示板等で周知している。 課題：コロナ禍で、学生のボランティア活動は縮小している。 改善策：認知症カフェ(作業療法学科、介護福祉学科)の実施に向けて検討をすすめる。</p> |